

個別取組部門（北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞）

「『見て欲しい！羅臼の漁業と羅臼のさかな』町民ガイド認定制度」

（羅臼地域マリンビジョン協議会）

【地域の概要】

「羅臼地域マリンビジョン協議会」は、世界自然遺産、海洋深層水など地域資源を活用し、地域ブランドを確立させる「さかなの城下町」構想を推進しています。

【取組概要と選定理由】

これまで元漁業者によるガイドを実施していましたが、地域資源を活用した体験メニューの拡充による周遊ツアーの充実化と関係者との連携による受入体制の強化を図り、知床らうすの自然を体験する交流拠点形成を目指し、町民ガイドによる観光案内を実施するため、認定制度を導入しました。

これまでは無許可で市場への出入りや撮影するなど課題も生じていたことから、衛生管理や安全面に配慮した見学ルールを再設定しました。漁業の観光資源化を図るため、町民ガイドの募集・研修会を実施し、10代から70代までの72名を認定しました。幅広い年齢層と様々な職種の方々が関わる町民参加型の活動であり、漁業中心の町から観光に目を向ける町民が増えるなど、他地域への参考となる良い事例となっていることが評価されました。



町民ガイド講習会の様子



羅臼で水揚げされる魚の種類も解説



小グループに分かれての説明状況



個別取組部門（北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞）

「見て・食べて～丸ごと体感サケ定置網起こし見学ツアー」

（ウトロ地域マリンビジョン協議会）

【地域の概要】

「ウトロ地域マリンビジョン協議会」は、二大産業である漁業と観光業の多様な連携による相乗効果と、ウトロ漁港を中心とする基盤施設等を有効に活用することで、地域・社会経済の活性化を目指しています。

【取組概要と選定理由】

サケ定置網漁業の操業風景は、普段は見られない光景であり、漁業のPRへの活用も期待できることから、観光資源化が望まれていました。一方、同じ海面を漁業作業、観光船運航で利用しているにもかかわらず、相互理解不足となっていたほか、観光客の活動時間と合わないなどの課題もあったことから、情報交換会を開催し、安全情報の共有、相互の連絡体制の確立を図るため、関係者による試行を行い、見学時のルールを確認しました。

平成28年からは、一般の参加者を対象にモニターツアーを実施しました。内容は、網起こし見学のほか、同年度から供用開始したウトロ漁港の人工地盤2階からの荷捌き作業の見学、漁協婦人部食堂での朝食、ふ化場見学を組み合わせるものとなっています。サケを生産から流通、増殖の視点で紹介するなど地域の資源を活用した取組が着手されたと言うことができ、今後の発展性に期待されることが評価されました。



漁業者OBの解説による網起こし見学



漁協職員の解説による陸揚げ作業見学



漁協婦人部食堂での朝食（サケ定食）



ふ化場での採卵作業見学